

November 18, 2021

【前日の為替概況】ドル円 113.94 円まで反落、米 10 年債利回りが 1.58% 台まで低下

17日のニューヨーク外国為替市場でドル円は3営業日ぶりに反落。終値は114.08円と前営業日NY終値(114.82円)と比べて74銭程度のドル安水準だった。アジア市場では一時114.97円まで上昇し、2017年3月以来の高値を付けたものの、NY市場では軟調に推移した。まとまった規模のオプションが観測されている節目の115.00円や本邦実需の売りが意識される中、ポジション調整目的の売りが先行。米長期金利の指標である米10年債利回りが1.58%台まで低下したことも相場の重しとなり、前日の安値114.10円を下抜けて一時113.94円まで値を下げた。米国株相場や日経平均先物の下落に伴うリスク回避的な円買いも入った。

ユーロ円は反落。終値は129.14円と前営業日NY終値(129.98円)と比べて84銭程度のユーロ安水準。米国株安を背景に円高の様相が強まり、一時129.04円と日通し安値を更新した。

また、豪ドル円は一時82.82円、NZドル円は79.79円、カナダドル円は90.34円、メキシコペソ円は5.51円まで値を下げた。WTI原油先物価格が約1カ月ぶりの安値を付けたことで、資源国のクロス円に売りが目立った。

ユーロドルはほぼ横ばい。終値は1.1319ドルと前営業日NY終値(1.1320ドル)と比べて0.0001ドル程度のユーロ安水準だった。ユーロ円などクロス円の下落につれた売りが出た半面、米長期金利の低下に伴うユーロ買い・ドル売りが入ったため相場は方向感が出なかった。

なお、シュナール欧州中央銀行(ECB)専務理事は「インフレ高進は来年には緩和する」「来年利上げ条件が満たされる可能性は極めて低い」と述べながらも、「インフレが予想よりも長期化した場合、ECBは対応する用意を整えておく必要がある」との考えを示した。

トルコリラは対ドルで一時10.6848リラ、対円で10.71円と史上最安値を付けた。明日18日のトルコ中銀の金融政策委員会(MPC)で追加利下げ観測が高まる中、リラ売りが続いた。エルドアン大統領が「金利とインフレとの戦いを最後まで続ける」「人々が金利に押しつぶされることは許さない」と述べ、利下げを求める姿勢を改めて表明したこともリラ売りを誘った。

【本日の東京為替見通し】ドル円、原油とNY株下落や米10年債利回り低下で上値が重い展開か

本日の東京外国為替市場のドル円は、米10年債利回りの1.60%割れを受けたドル売りでニューヨーク株式市場の反落を受けたリスク回避の円買いで上値が重い展開が予想される。

昨日のドル円は、115.00円のノックアウト・オプションへの買い仕掛けで114.97円まで続伸したものの、オプションの防戦売りや年末を睨んだ本邦輸出企業からのドル売りオーダーが上値を抑制した。

本日のドル円のオーダー状況は、上値には、114.80円にドル売りオーダー、115.00円にドル売りオーダーと本日のNYカットオプション、超えるとストップロス買い、115.20円にドル売りオーダーが控えている。下値には、113.70-80円に断続的にドル買いオーダー、割り込むとストップロス売りが控えている。

WTI原油先物価格が原油需給の緩和観測を受けて77.69ドルまで下落したことも、米10年債利回りの低下やドル円の上値を抑える要因となっている。バイデン米大統領は先日、エネルギー価格を抑制する方策を米国家経済会議(NEC)に指示したが、昨日は「米国は中国やインド、日本、韓国に石油放出を求めた」と報じられている。

また、バイデン米大統領は「次期FRB議長を25日の感謝祭までに指名する」と報じられており、今週末に向けて関連ヘッドラインには引き続き要警戒となる。バイデン米大統領は、パウエルFRB議長を続投させるかどうか検討しているほか、進歩派の議員が支持しているブレイナードFRB理事と面談しており、次期FRB議長候補はこの両者に絞られている。パウエルFRB議長は利上げに関して「忍耐強さ(patience)」を強調しているが、ハト派の急先鋒であるブレイナードFRB理事はより忍耐強いと思われることで、ブレイナード第17代FRB議長誕生ならば、ドル売り要因となる。バイデン米大統領がハト派のブレイナードFRB理事を指名した場合、バイデン米大統領が利上げに反対する意思を示したことになり、タカ派の2名のFRB副議長もハト派に一新される可能性が高まることで、来年の利上げ時期が先送りされる可能性が高まることになる。イエレン米財務長官は、第15代FRB議長の時、「高圧経済政策」、すなわち、インフレ高進にも関わらず低金利政策を維持する政策を主張しており、ブレイナード第17代FRB議長とイエレン米財務長官の金融・財政の組み合わせ誕生には要警戒となる。

【本日の重要指標】 ※時刻表示は日本時間

<国内>

008:50 ◇ 対外対内証券売買契約等の状況（週次・報告機関ベース）

<海外>

013:00 ◎ エリス豪準備銀行（RBA）総裁補佐、講演

016:30 ◇ 7-9月期スイス鉱工業生産（予想：前年同期比9.8%）

018:30 ◎ センテノ・ポルトガル中銀総裁、講演

019:00 ◎ パネッタ欧州中央銀行（ECB）専務理事、講演

020:00 ◎ トルコ中銀、政策金利発表（予想：15.00%に引き下げ）

022:00 ◎ ポスティック米アトランタ連銀総裁、講演

022:30 ◇ 9月対カナダ証券投資

022:30 ◎ 前週分の米新規失業保険申請件数／失業保険継続受給者数（予想：26.0万件／212.0万人）

022:30 ◎ 11月米フィラデルフィア連銀製造業景気指数（予想：24.0）

0未定 ☆ 南アフリカ準備銀行（SARB）、政策金利発表（予想：3.50%で据え置きと3.75%に引き上げて拮抗）

023:30 ◎ ウィリアムズ米ニューヨーク連銀総裁、講演

023:30 ◎ レーン ECB 専務理事兼主任エコノミスト、講演

024:00 ◎ 10月米景気先行指標総合指数（予想：前月比0.8%）

019日 04:00 ◎ エバンズ米シカゴ連銀総裁、講演

019日 05:30 ◎ デイリー米サンフランシスコ連銀総裁、講演

0米、カナダ、メキシコの北米3カ国首脳会談（ワシントン）

※「予想」は特に記載のない限り市場予想平均を表す。▲はマイナス。

※重要度、高は☆、中は◎、低◇とする。

※指標などの発表予定・時刻は予告なく変更になる場合がありますので、ご了承ください。

【前日までの要人発言】

17日 05:30 バイデン米大統領

「FRB議長職に関するニュースを今後4日前後で発表する」

「ために規制が必要」

「FRBのデジタルドルの必要性に懐疑的」

17日 15:29 レーン・フィンランド中銀総裁

「ユーロ圏のインフレは来年緩和するだろう」
「インフレは供給ひっ迫やエネルギー価格により上昇」
「インフレは賃金にまだ反映されていない」

18日 04:13 ホワイトハウス

「戦略石油備蓄(SPR)に関するアナウンスはない」
「バイデン大統領は感謝祭(25日)までにFRB議長を指名する可能性が高い」

17日 16:55 ルメール仏財務相

「現在のインフレ高は一時的だが、引き続き警戒は必要」
「物価高から仏国民を守る必要がある」

18日 06:16 エバンズ米シカゴ連銀総裁

「年末までに失業率が4.5%になっても驚かない」

※時間は日本時間

17日 18:08 欧州中央銀行(ECB)金融安定報告書

「経済状況の改善により、短期的なテールリスクは軽減された」
「持続的な高インフレは回復に重し」
「高債務と同様に、信用や資産、住宅市場での熱狂を警告」

17日 19:09 エルドアン・トルコ大統領

「人々が金利に押しつぶされることを許さない」
「金利とインフレとの戦いを最後まで続ける」

17日 23:07 シュナーベル欧州中央銀行(ECB)専務理事

「スタグフレーションへの恐れは根拠がないように見える」
「世界、ユーロ圏の経済活動は減速し始めている」
「インフレ減速のペースと程度について不確実性が高まっている」

17日 23:40 キャサリン・マン英中銀金融政策委員会(MPC)委員

「GDPは減速する可能性が高い」

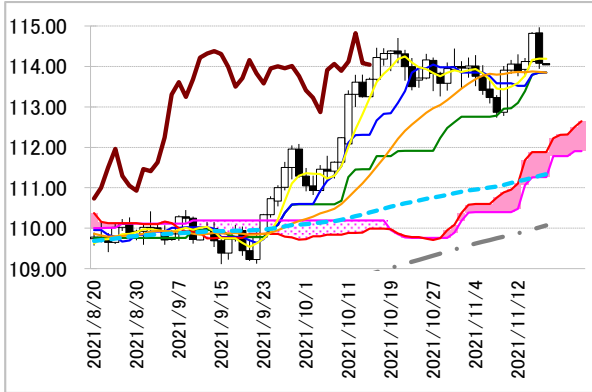
18日 00:32 ウィリアムズ米ニューヨーク連銀総裁

「昨春のような主要金融市場の深刻な混乱はまれ」
「大きな衝撃に耐えられるよう、債券市場を強化する方策を検討する必要」

18日 02:50 ウォラー米連邦準備理事会(FRB)理事

「ステーブルコインは金融システムの安全性を確保する」

〔日足一目均衡表分析〕

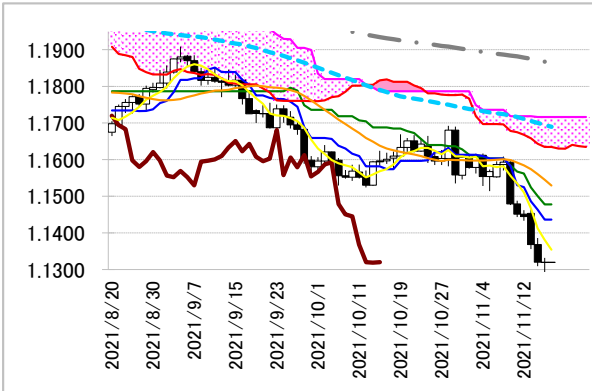


<ドル円=11/17 高値を抵抗に戻り売りスタンス>

陰線引け。一目・転換線は基準線と同値、遅行スパンは実線を上回り、一目・雲の上で引けていることで、買いシグナルが優勢な展開となっている。しかし、高値圏での抱き線で反落しており、続落の可能性が示唆されている。

本日は、11月17日の高値を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同水準を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 2	115.51(2017/3/10 高値)
レジスタンス 1	114.97(11/17 高値)
前日終値	114.08
サポート 1	113.85(日足一目均衡表・転換線)
サポート 2	113.26(10/28 安値)

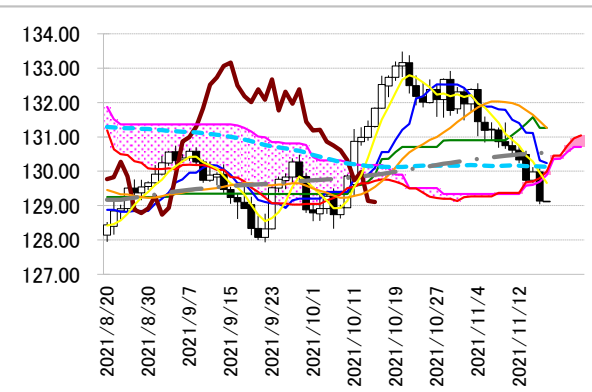


<ユーロドル=転換線を抵抗に戻り売りスタンス>

小陰線（寄引同事線）引け。一目・転換線は基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、一目・雲の下で引けていることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯中。6手連続陰線で下落し、転換線を下回って引けており続落の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 1	1.1436(日足一目均衡表・転換線)
前日終値	1.1319
サポート 1	1.1264(11/17 安値)

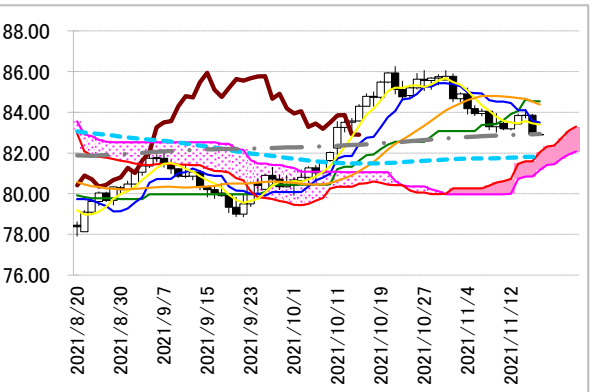


<ユーロ円=転換線を抵抗に戻り売りスタンス>

陰線引け。一目・転換線は基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、雲の下で引けていることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯している。抱き線で下落し、転換線を下回って引けていることで続落の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 1	130.24(日足一目均衡表・転換線)
前日終値	129.14
サポート 1	128.33(10/6 安値)



<豪ドル円=転換線を抵抗に戻り売りスタンス>

陰線引け。一目・転換線は基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、一目・雲の上で引けているものの、売りシグナルが優勢な展開となっている。抱き線で反落し、転換線を下回って引けていることで続落の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 1	83.50(日足一目均衡表・転換線)
前日終値	82.92
サポート 1	82.04(日足一目均衡表・雲の上限)

